

校訓
「強く正しく」

学校教育目標
よく学び合い 心豊かに
たくましく生き抜く児童の育成

学校経営基本方針

～子どもたちの笑顔・幸せ・希望があふれる学校に～

- 対話を大切にした信頼される学校づくり
- 知・徳・体の調和と統一のとれた学校づくり
- 連携・協働のもと働きがいのある学校づくり

重点目標

1 確かな学力と健康でたくましい心身をもった子どもの育成を図る。

- (1) 「学力向上実行プラン」の完全実施
 - 基礎的・基本的な知識・技能の習得(学力向上確認プリントの活用)
 - 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成。
 - 主体的に学習に取り組む態度の育成。
- (2) 教師の授業力の向上
 - 学習目標を明確にし、児童の実態に応じたわかる授業をめざす。
 - GIGAスクール構想展開のもとICTの効果的活用により、「新時代の学び」に取り組む。
 - 指導内容に関する専門性を高め、教材研究や指導方法の工夫改善に積極的に取り組む。
- (3) 健康・体力づくりの推進
 - 三縄っ子HAPPYグループ(異年齢集団)での活動のよりいっそうの推進。
 - 様々な運動や健康・安全に関する活動・食に関する指導を通して、身体で感じることや気づきを大切にしながら体力の向上や健康の保持増進を図る。

2 教育活動全体を通して創意工夫し、「上をめざす」子どもの育成を図る。

- (1) 命を大切にする心の教育の推進
 - 教育活動全体を通して人権教育を展開し、自分の存在と他人の存在を等しく認めながらお互いの人格を尊重し合える態度など、心の通う人間関係を構築する能力の素地を養う。
 - 道徳教育の充実を図り、体験活動や身近な地域の人とのふれあいを大切にし、道徳的実践力を高める。
- (2) キャリア教育の推進
 - 異学年活動の充実を図り、児童の先輩としての自覚を育て、先輩のようになりたいという意識を高める。
 - キャリアパスポートを有効活用し、夢や希望、あこがれる自己のイメージを高める。

『いじめは決して許されない』
-いじめを生まない環境づくり-

3 家庭や地域と連携して、ふるさとを愛する心を育てるとともに、『三縄すてき』といえる子どもの育成を図る。

- (1) 家庭や地域との連携
 - 黒沢湿原でのサギ草の育成や野生動植物の観察を通して、郷土を愛し、自然を守っていこうとする感性、生活環境の変化に対応する実践力を育む。
 - 地域の特色を生かした体験活動を通し、豊かな人間性を養い、自ら学び、自ら考え、よりよく問題を解決しようとする子どもを育てる。また、自分の考えの変容を自覚し、たくましく生きる力を育て、ふるさとを愛する子どもを育てる。
- (2) コミュニティスクールの充実
 - 学校運営協議会と「めざす子ども像」を共有し、実現に向け熟議を重ね、協働を図る。

4 教職員の働き方改革を推進し、健康な心身で、子どもに寄りそえる機会を増やし、質の高い教育をめざす。

- 業務の適正化と質的転換による教育力の向上と持続可能な学校づくりをめざす。
- タイムマネジメントを徹底し、「新しい生活様式」に基づく学校行事の精選・見直し等や、GIGAスクール構想の実装による授業形態や業務の効率化を図る。



めざす教職員像
◎子どもたちの心を何よりも大切に
◎わかる授業・楽しい授業を実践し、
◎学び続ける教職員
◎職場の「和」を大切に、協働する教職員

めざす子ども像
◎自ら学び、最後までやり抜く
◎相手を思いやり、助け合い、励まし合える子
◎健康・安全・体力づくりに進んで取り組む子

めざす学校像
◎生き生きと楽しく学び合う学校
◎夢と元気あふれる学校
◎家庭・地域と信頼で結ばれている学校

ナンバーワン・スクール

共に学び合い支え合うなかまたち
～一人ひとりが輝く学校に～

ステップアップ・スクール

地域の教育環境・教育力を生かした学校づくり
～ふるさとを愛し、「三縄すてき」といえる三縄っ子～

特色ある教育活動

